

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	1単位 保育実習	保育実習指導 I B		2年次	春

授業のキーワード	施設実習、職業倫理、アセスメント技術
授業の概要	施設実習の目的、内容、意義を理解し、受講者が目的意識を持って現場実習にのぞむことができるように、基本的な知識技能の習得や職業人として必要なマナーなどを学び、身につけることを目指します。
期待される学習成果（目標）	1.施設実習の目的、内容、意義を理解することができます。 2.職業人として必要なマナーなどを学び、実践に活かすことができます。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	イントロダクション	実習指導の趣旨説明及びスケジュールの確認を行います。	第9講	事後指導(1)	実習先へのお礼状の書き方について学びます。
第2講	施設実習の進め方	実習先となる施設の理解と、施設実習の一日の流れを学びます。	第10講	事後指導(2)	実習の振り返りを行います。
第3講	実習における実習生の立ち位置の確認	実習生の心構えや実習マナーについて学びます。	第11講	事後指導(3)	実習報告書の書き方を学びます。
第4講	施設実習の基本的な考え方	ゲストスピーカーとして、最前線の現場で実践をしている施設職員から実習に関する講話を受けます。	第12講	事後指導(4)	設定された課題を解くことをとおして、実習の振り返りを行います。
第5講	実習日誌の書き方(1)	子どもの観察の視点を中心に学び、どのように実習日誌に落とし込むのかについて理解します。	第13講	事後指導(5)	実習全体の総括を行います。
第6講	実習日誌の書き方(2)	事例や演習をとおして、記録の方法やアセスメント技術を身に付けます。	第14講	まとめ	本講義全体のまとめと振り返りを行います。
第7講	実習にあたっての心構え	守秘義務や人権意識、職業倫理などについて学びます。	第15講	実習報告会	実習報告会を実施します。
第8講	実習に向けての準備諸注意	健康管理・安全対策についての理解を深めていきます。	定期試験		
評価方法	学期末のレポート50%、授業貢献度（授業態度、事例検討への参加、小レポート等）50%により、総合的な評価を行います。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
参考資料については、特に指定せず、毎回講義の中で配布します。			随時、授業中に紹介します。		